

代 表

第8回沼津市議会定例会

一 般 質 問 ( 代 表 質 問 )

令和7年2月26日、27日、28日

令和7年2月26日(水) 午前10時から

順番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	志政会 28番 浅原和美	1 本市のまちづくりとにぎわいづくりについて (1) 公共空間に人が滞留するための取組 (2) 沼津駅の駅舎及び駅前広場のデザイン (3) 沼津駅周辺の将来イメージ像 (4) イトーヨーカドーの跡地活用と連携した駅北口のまちづくり (5) 沼津駅周辺の商業振興策 (6) 企業誘致の取組 (7) 市民文化センターと香陵アリーナの連携 (8) 沼津港周辺の観光客の市街地への誘導策 (9) 災害に強いまちづくり (10) ICTを活用したまちづくり及び「X-Tech NUMAZU」の取組 (11) カーボンニュートラルに向けたまちづくり	市長 教育長 関係部長
2	志政会 25番 渡邊博夫	2 潤いと安心の市民生活の向上を目指して (1) パラスポーツの振興について ① 施設整備と環境づくり ② 啓発活動と市民参加の促進 ③ 人材の発掘・育成 ④ 情報発信の体制づくり ⑤ 施策の具体化と推進 (2) 能登半島地震の教訓から「災害関連死」の防止対策について ① 避難所の環境改善 ② 保健医療体制の充実 ③ 避難行動の多様化への対応 ④ 事前準備と啓発 ⑤ 地域コミュニティの活用 (3) 第二中学校区の学校規模・学校配置の適正化について ① 決定した方針の理由 ② 方針決定に至る取組とその評価 ③ 令和7年度の取組とその後の対応 (4) 高尾山古墳の整備について ① 高尾山古墳の価値と評価 ② 古墳保存と道路整備両立の新年度事業 ③ 将来に向けた整備活用	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
3	志政会 16番 小澤 隆	3 産業振興施策について (1) 一次製品のブランド化 (2) IT企業の誘致 (3) 高雄市との観光交流促進協定をはじめとする台湾との交流 (4) ラブライブ！サンシャイン！！及びAqoursとの今後の関係 (5) 戸田地区の活性化 4 感染症対策 5 沼津市芸術祭 6 河川維持事業について (1) 河川のしゅんせつ	市長 教育長 関係部長
4	志政会 10番 大場 豪文	7 地域の宝を活かすまちについて (1) 沼津港大型展望水門「びゅうお」を生かした港のにぎわいづくり (2) 新たな観光PRの取組 (3) フィルムコミッションとの連携 (4) 広域的な観光連携 ① 美しい伊豆創造センターとの観光連携による取組 8 行財政運営について (1) 行政改革の取組	市長 関係部長

令和7年2月26日（水）午後から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
5	沼津志帥会  12番 尾藤正弘	1 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちについて (1) 香貫水における沿道整備 ① 整備内容と取組 2 地域資源を活用したまちづくりについて (1) S e a級グルメを活用した産業活性化 ① 沼津大会後の取組 ② 令和7年度の取組 3 香貫山整備に係る取組について (1) 香貫山の魅力向上 ① 現状の認識 ② 整備の取組 4 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて (1) ストリートスポーツパークの在り方 ① これまでの運用状況と課題 ② 運用継続と施設拡張 ③ 今後の運用期間と方針 (2) 障がい者福祉 ① 現状や課題の認識 ② 令和7年度の取組 5 安全・安心のまちについて (1) 浸水被害をさらに低減するための治水対策 ① 田んぼダムの認識 (2) 災害時における井戸水の利活用 ① 現状の認識 ② 今後の展開 (3) 複雑・多様化する犯罪被害の未然防止 ① 宅配ボックス設置の有効性 6 行財政運営について (1) 期日前投票所拡大の可能性 ① 現状の認識 ② 全地区センターにおいて実施する可能性 ③ 先進地事例を参考にした事例研究 ④ 適正に選挙事務を行うための人員配置	市長 選挙管理委員会 委員長 関係部長
6	沼津志帥会  7番 浅田美重子	7 安心して子どもを産み育てられるまちについて (1) 出産後から就学前までの切れ目のない健診体制 ① 1か月児・5歳児健診導入の内容 ② 各関係機関との連携 ③ エントリーシートの活用 (2) 中学校部活動の地域展開における課題への対応 ① 参画する新たなクラブ・団体像 ② 費用負担と移動手段の在り方 ③ 活動低下を防ぐ手だて	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
7	沼津志帥会 8番 村木豊	<p>8 環境と共生する持続可能なまちについて</p> <p>(1) 豊かで美しい海と渚づくり事業</p> <p>① 本市と海岸管理者である静岡県等との連携</p> <p>② ビーチクリーナー及びクローラーの稼働範囲と利用者</p> <p>③ 海岸清掃活動の拡大方法に対する認識</p> <p>9 地域の宝を活かすまちについて</p> <p>(1) SNS等の情報発信による観光客誘致</p> <p>10 力強い産業を牽引するまちについて</p> <p>(1) 農林業の振興</p> <p>① 本市農業の将来像とそれに向けた取組</p> <p>② スマート農業を支える通信環境の整備</p> <p>③ 災害対策も踏まえた道路インフラ整備</p>	市長 関係部長
8	沼津志帥会 27番 植松恭一	<p>11 未来を担う人づくりについて</p> <p>(1) 教育を基盤にしたまちづくり</p> <p>① 本市独自の教育カリキュラム</p> <p>② 通学費等の補助対策</p> <p>③ 県とのさらなる連携</p> <p>12 災害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 防災対策を念頭に置いた市内全域の道路への対応</p> <p>① これまでの災害を教訓とした道路整備への対応</p> <p>(2) 増加する空き家への対策</p> <p>13 円滑な業務執行について</p> <p>(1) 不祥事の再発防止に向けた取組</p> <p>(2) 適正な職員数の確保</p> <p>14 施政方針の実現性と市長の考える未来の沼津について</p>	市長 教育長 関係部長

令和7年2月27日（木）午前10時から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
9	市民クラブ 6番 大草満	<p>1 居心地がよく質の高いまちづくり</p> <p>(1) 中心市街地を軸としたまちづくり</p> <p>① 地域資源を結びつけた一体的なまちづくり</p> <p>② 核となる中心市街地における取組</p> <p>(2) 民間まちづくり活動の支援</p> <p>① 支援を受けた事業の自立・自走</p> <p>② 「まちなかの魅力づくりに寄与する取組」に対する上乗せ支援</p> <p>(3) OPEN NUMAZUの取組</p> <p>2 にぎわいの創出</p> <p>(1) インバウンドの推進</p> <p>(2) クラフトビール等の活用</p> <p>(3) 沼津港のさらなる振興策</p> <p>(4) 香貫山周辺エリアの魅力向上</p> <p>(5) スポーツ大会・イベントの開催支援</p> <p>3 移住・定住の促進</p> <p>(1) 体験型バスツアー</p> <p>(2) 大学生等の就職に伴う移住支援</p> <p>(3) 地域資源を活用した婚活イベント</p> <p>(4) 結婚支援のための協議会</p> <p>4 未来を担う子どもの育成</p> <p>(1) 子どもたちを取り巻く社会の変化</p> <p>(2) 不登校対策</p> <p>(3) 公立小中学校の水泳</p> <p>① 小学校</p> <p>② 中学校</p> <p>(4) 児童生徒支援員の配置</p> <p>5 投票率向上への挑戦</p> <p>(1) 県内上位の高投票率を目指した工夫と挑戦</p> <p>(2) 未来カルテを用いた未来ワークショップ（主権者教育）の導入</p>	市長 教育長 選挙管理委員会 委員長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
10	市民クラブ 5番 佐藤 健一郎	<p>6 市民生活を豊かにする取組</p> <p>(1) 自治会活動の担い手づくりと負担軽減</p> <p>(2) 地区センター建て替え計画及び建物保全</p> <p>(3) これまで以上に「伝わる」広報となるための取組</p> <p>(4) 消費生活相談体制の強化</p> <p>(5) 最近の凶悪犯罪への対策</p> <p>7 産業の振興</p> <p>(1) 起業創業支援</p> <p>(2) 市内企業に対する支援</p> <p>(3) 労働人材の確保</p> <p>① 学生に自社をPRする機会の拡大</p> <p>② 大学の誘致</p> <p>③ 多様な人材の確保</p> <p>④ 沼津しごと応援サイトぬまjobの活用</p> <p>(4) 中小企業の事業承継</p> <p>(5) 漁港活用推進計画の策定</p> <p>(6) 漁業就業支援フェアへの出展</p> <p>8 防災・減災の推進</p> <p>(1) 能登半島地震からの学び</p> <p>(2) 防災DXの活用</p> <p>(3) 感震ブレーカー設置の実績と今後の対応</p> <p>(4) 避難行動要支援者の避難支援と名簿の活用</p> <p>(5) 消防団員の確保</p> <p>9 環境対策の推進</p> <p>(1) 再利用可能な廃棄物の対応</p> <p>(2) 「ゼロカーボンシティNUMAZU2050」の表明に基づく本市のCO<sub>2</sub>削減状況とJ-クレジット制度導入の考え方</p> <p>(3) 新中間処理施設で発電した電力の活用方針</p>	市長 関係部長
11	市民クラブ 23番 渡部 一二実	<p>10 その他</p> <p>(1) 地域公共交通の再生へ向けた広域連携と幹線部・端末部の最適化の追求</p> <p>(2) 市職員及び教職員に対するカスタマーハラスメント対策</p> <p>(3) 県のプロジェクトTOUKAI-0と連携した木造住宅・ブロック塀の耐震化促進</p> <p>(4) 愛鷹山麓の治水対策の推進状況と治水工事の完遂見込み</p> <p>(5) 業務効率化向上策や職員の働き方改革と市民サービス向上の関係性</p> <p>(6) 過去最大規模となる一般会計当初予算の特長と財源確保の見通し</p>	市長 教育長 関係部長

令和7年2月27日（木）午後から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
12	公明党  9番 小泉宣子	1 物価高騰対策について (1) 地方創生臨時交付金の活用について ① 事業選定の考え方 ② 新年度の事業の内容と目的 2 自分らしいライフスタイルを実現できるまちについて (1) 窓口字幕表示システム導入 (2) 障がい者に配慮した窓口対応 (3) 社会のつながりやコミュニティの強化への考え方 3 安心して子どもを産み育てられるまちについて (1) 公立中学校部活動の地域展開について ① 取組方針を踏まえた令和7年度の取組 ② 「（仮称）ヌマカツ推進事務局」の設置内容 ③ 「（仮称）ヌマカツ推進事務局」の設置による効果 4 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて (1) 子ども向け芸術文化体験事業 ① 事業内容と目的 ② 将来的に見込まれる効果 (2) 重層的支援体制整備事業 ① 来年度の具体的な取組 ② 事業実施により期待される効果 5 環境と共生する持続可能なまちについて (1) 資源循環型のまちづくり	市長 教育長 関係部長
13	公明党  20番 長田吉信	6 行財政運営について (1) 市立病院 ① 経営状況等について ア 経営状況の認識 イ 収支改善の取組 ② 救命救急に関する業務について 7 安全・安心のまちについて (1) 浸水被害対策について (2) 災害情報を収集・発信する仕組みと伝える方法について (3) 命と健康を守る避難環境について ① 福祉の視点の防災対策 ② トイレ、キッチン、ベッド、寒暑対策 (4) 災害時の井戸水の活用について (5) 災害に強い半島地震対策について	市長 病院長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
14	日本共産党 沼津市議団  1番 川口慶	1 令和7年度の主な取組について (1) 人口減少対策 ① 移住・定住への取組 ② 出生率に対する認識 ア 出生率を高める取組 イ 他市町との差別化 ③ 現役世代への支援 (2) 柱2 ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちについて ① 沼津駅周辺総合整備事業のコスト増加に対する認識 ② 町方町・通横町第一地区第一種市街地再開発事業、大手町五丁目第一地区第一種市街地再開発事業の本市への影響 (3) 柱3 力強い産業を牽引するまちについて ① 農業振興 ア 農業者支援 イ 新規就農者支援 ② 水産業振興 ア 海業 (4) 柱5 安心して子どもを産み育てられるまちについて ① 婚活イベントの開催について ア 現在の取組状況の結果と評価 イ 新規に婚活イベントを開催する目的と事業の概要 (5) 柱6 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて ① 重層的支援体制整備事業について ア 現在の相談支援事業の現状と課題 イ 本整備事業が目指す全体像と具体的体制 ウ ケア労働者に対する支援 (6) 柱7 安全・安心のまちについて ① 防災資機材整備事業 ア 災害時の感染症対策の観点からのトイレ整備 2 行財政運営について (1) 市債への認識 (2) 市立病院の体制 (3) 執務環境改善事業	市長 病院長 関係部長



順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
15	未来の風 17番 江本浩二	1 学校給食について (1) 保護者負担完全無償化 (2) 地産地消の推進 2 農業振興について (1) 農業従事者の高齢化と減少 (2) 学校給食食材を栽培する農業者の育成 3 災害に強いまちづくりについて (1) 井戸川雨水貯留池整備 (2) 中尾川雨水貯留池整備 4 環境負荷の少ない安定したごみ処理について (1) 新中間処理施設敷地造成工事における土壌汚染問題	市長 教育長 関係部長
16	未来の風 18番 山下富美子	5 新年度予算編成について (1) 一般会計予算が過去最大となった要因と特徴 (2) 地方交付税や臨時財政対策債と地方財政計画との関係 (3) 地方債残高の影響 ① 起債残高の増加傾向と見通し ② 市債と公債の関係 ③ 起債残高の適正な規模と考え方 (4) 前年度から繰り越される予算の要因と見通し 6 沼津駅周辺総合整備事業について (1) 進捗状況 (2) 財政見通しと前年度からの繰越額 (3) 投資効果と人口減少の関係 (4) 沼津駅直通列車の減便による踏切遮断時間への影響 7 沼津夜間救急医療センターの指定管理について (1) 指定管理の委託者としての責務 (2) 指定が継続となった要因と業務等の見直し (3) 指定管理料等の内訳と積算根拠 (4) 市民への信頼回復に向けて 8 第二中学校区における学校規模・学校配置の適正化の方針決定について (1) これまでの経緯 (2) 方針決定に至った主な理由 (3) 決定が及ぼす影響 (4) 小規模特認校の検討 (5) 通学上の安全確保 (6) 住民との合意形成	市長 教育長 関係部長

令和7年2月28日（金）午前10時から

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
17	無所属 13番 久保田 吉光 ※会派「志政会」の 発言時間を使用	1 本市の農業政策について (1) 未来を見据えた農業政策の推進 ① 国が推進する「みどりの食料システム戦略」 の取組 ② 有機農法拡大のための課題 ③ 新規就農者の発掘	市長 関係部長
18	無所属 11番 平野 謙 ※会派「沼津志帥会」の 発言時間を使用	1 基本的な考え方について (1) 「誇り高いまち沼津」の実現について ① 市長の認識 ② 具体的な方策 (2) 時代の変化に伴う労働力人口の減少について ① 市長の認識 ② 外国人労働者への施策 (3) 少子高齢化・人口減少について ① 現状に対する認識 ② 具体的な取組 2 笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちについて (1) ストリートスポーツパークの拡張整備について ① これまでの評価 ② 今後の展開 (2) 福祉分野における重層的な支援について ① 事業の目的 ② 具体的な取組に対する姿勢	市長 関係部長